

21
年度

未来に伝えたいわたしたちのまち 市川市景観賞

平成19年度にスタートした「市川市景観賞」。平成21年度は4団体と個人2人を選び、2月13日「平成21年度景観シンポジウム」で表彰式を行いました。市は全国に先がけて景観条例を制定し、市民のみなさんと魅力的なまちづくりに取り組んでいます。景観とは、目に見える風景だけでなく、

音や光、香りといった五感でとらえることのできるものすべてです。一人ひとりが地域の文化を理解し、心地よい環境を考へるところから景観づくりは始まります。わたしたちのまち、市川の景観を未来に一緒に伝えていきましょう。
問い合わせ ☎334-1402 都市計画課



行徳の心を守り継ぐ

行徳五カ町祭禮

〈受賞者〉本行徳1丁目、2丁目、3丁目、4丁目、本塩自治会

10月に行われる豊受神社神明宮の大祭は、行徳五カ町祭禮と呼ばれ江戸時代から伝え続けられてきました。300年の伝統を守り継いでいこうとする住民の熱い思いが、地域の絆を強いものになっています。



インタビュー



本行徳1丁目自治会長
竹内義孝さん

この祭りには、「五カ町もみ」と呼ばれる独特の担ぎ方から、町内の巡行の仕方、見学の仕方まで細かな決めごとがあります。勝手なことをする者がいれば、よい祭りにはならないのです。数年前、火災に見舞われた社殿もまちの人々の尽力によって再建することができました。行徳も様変わりましたが、祭りはまちの求心力。わたしたちには、素晴らしい祭りを伝えてくれた先人に感謝し、大切に伝える義務があると思っています。



〈受賞者〉平川肇さん

行徳街道沿いにある築84年の建物を大切に維持しています。大正時代から昭和初期建築の特徴である、和洋折衷の外観が印象的です。



行徳街道の面影を伝える 澤木酒店の保存活動

〈受賞者〉澤木けえ子さん

昭和初期の建物や看板、内装などを大切に守り、今も商売を続けています。かつての行徳街道のにぎわいを今に残す数少ない建物です。



人が集まる市川駅周辺街づくり 元気！市川会



〈受賞者〉元気！市川会

JR市川駅と京成市川真間駅周辺の自治会、商店街、公共交通機関や大学の関係者などが、市と協力し、放置自転車対策、市川駅前の清掃活動、イルミネーションによる装飾などを展開しています。



インタビュー

市川らしさとは何かを第一に考え、市と協力し、放置自転車の一掃、駅広シエルの設置など駅周辺の環境整備を進めてきました。ともすれば設備を作ること満足してしまいがちですが、維持していくこと。そのために商店は時に汗をかき、地域のために投資することも必要です。今後は防犯カメラの設置、啓発放送のスピーカー増設などで、さらに思いやりのあるまちづくりに取り組んでいきたいと思っています。



左から 代表 田平和精さん 副会長 斎藤省三さん
副代表 菅原政見さん 事務局長 山口秀世さん



夢を語る団地づくり ハイタウン塩浜第一住宅

〈受賞者〉ハイタウン塩浜 第一住宅管理組合

住民が主体となって、分譲から30年が経過した団地の駐輪場や歩道などを整備しました。その後「環境・花クラブ」も生まれ、手入れされた花壇が四季折々に人々の目を楽しませています。



インタビュー

始まりは駐車場の増設問題でしたが、改めて生活空間を見直すと、駐輪場、遊具、植栽などいろいろな課題が見えてきました。そこで、希望を持って入居してきたころを思い出し、もう一度、心地よい環境を自分たちの手に取り戻したいと考えました。世帯の平均年齢が上がり、住民



理事 赤塚学志さん(左)
理事 若本博志さん(右)

どうしのつながりを見直す時期でもあったのでしょう。最初はお互いに遠慮があっても、夢を語る中で一つの形が実現していきました。土のある空間を作れば、花を植えたい人が現れ、さらにそれを見に来る人も生まれます。新しいコミュニティが育ちつつあることを日々実感しています。

行徳に息づく近代建築 平川医院の保全活動

街に調和した共同住宅建築 ザ・ブランディス市川菅野

〈受賞者〉(ザ・ブランディス市川菅野) 京成電鉄株式会社 清水建設株式会社集合住宅設計部1部

新築マンションの建設にあたり、日本の伝統である漆喰の色を用い、緑地を配置するなどして、菅野地区に調和する落ち着いた景観づくりに努めました。

